

発行日: 2010年10月18日

## 製品安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名 :ポリエステル樹脂 SS-158  
会社名 :株式会社ソーラー  
住所 :兵庫県神戸市中央区布引町2丁目1番7号  
担当部署 :技術開発部  
電話 :0790-49-2366  
FAX :0790-49-1588  
製品番号(MSDS NO) :JP770900-2

### 2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体:区分 3

健康に対する有害性

急性毒性経口:区分 5

急性毒性経皮:区分 5

急性毒性蒸気吸入:区分 4

皮膚腐食性/刺激性:区分 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:区分 2A

生殖細胞変異原性:区分 2

発がん性:区分 2

生殖毒性:区分 1B

特定標的臓器毒性(単回暴露):区分 1

特定標的臓器毒性(単回暴露):区分 3(気道刺激性)

特定標的臓器毒性(反復暴露):区分 1

環境に対する有害性

水生毒性-急性:区分 2



注意喚起語:危険

危険有害性情報

引火性液体および蒸気

飲み込むと有害のおそれ

皮膚に接触すると有害のおそれ

蒸気を吸入すると有害

皮膚刺激

強い眼刺激

遺伝子疾患のおそれの疑い

発がんのおそれの疑い

生殖能または胎児への悪影響のおそれ

中枢神経/中枢神経系の障害

(気道刺激性)呼吸器への刺激のおそれ

長期または反復暴露による血液/血液系、神経/神経系、肝臓、呼吸器/呼吸器系の障害

水生生物に毒性

注意書き

予防

使用前に取扱い説明書を入手する。  
 取扱う前にすべての安全注意を読み理解する。  
 熱源/火花/炎/加熱面から遠ざける。 - 禁煙。  
 容器を密閉する。  
 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/工具を使用する。  
 静電気対策を講ずる。  
 粉じん/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入してはならない。  
 取扱い後は汚染箇所をよく洗う。  
 この製品を使用するときは、飲食または喫煙をしてはならない。  
 屋外または換気の良い場所でのみ使用する。  
 (適切な処置を講じたとき以外は)環境への放出を避ける。  
 保護手袋/保護眼鏡/顔面保護具を着用する。  
 必要な個人用保護具を使用する。

**対応**

気分が悪い時は、医師の診断/手当を受ける。  
 無理に吐かせてはならない。  
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯する。  
 飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡する。  
 皮膚に付着した場合:多量の水と石鹼で洗う。  
 吸入した場合:気分が悪い時は、医師に連絡する。  
 吸入した場合:被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。  
 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用し容易に外せる場合は外し洗浄を続ける。  
 暴露または暴露の懸念がある場合:医師の診断/手当を受ける。  
 皮膚刺激が生じた場合:医師の診断/手当を受ける。  
 眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当を受ける。  
 水はリスクを増大させる。火災に際しては指定された消火剤を使用する。

**保管**

施錠して保管する。  
 換気の良いところで保管する。容器を密閉する。  
 換気の良い場所に保管する。低温に保つ。

**廃棄**

内容物/容器を国/地方の規則に従って廃棄する。

分類の名称(分類基準は日本方式)

引火性液体  
 急性毒性物質  
 その他の有害性物質

**3. 組成、成分情報**

単一製品・混合物の区別 :混合物質

成分名	含有量(%)	CAS No.	化管(PRTR)法政令番号
不飽和ポリエステル樹脂	55 - 60		
スチレン	43.0	100-42-5	1-240
シリカ	0.1 - 1	7631-86-9	

**4. 応急措置**

吸入した場合:

被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。  
 呼吸症状が出た場合は、医師に連絡する。

皮膚に付着した場合

溶剤、シンナーを使用してはならない。  
 多量の水と石鹼で洗う。  
 外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪いときには医師の診断を受ける。

眼に入った場合:

水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズ着用の場合は容易であれば外して洗浄する。

眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当てを受ける。

飲み込んだ場合:

口をすすぐ。

無理に吐かせてはならない。

直ちに医師に連絡する。

## 5. 火災時の措置

適切な消火剤

火災の場合は霧状水、泡、粉末、炭酸ガスを使用する。

特定の消火方法

指定の消火剤を使用する。

可燃性のものを周囲から素早く取り除く。

周囲の設備などに散水して冷却する。

消火作業用の特別な保護具と予防措置

消火活動は風上から行い、有毒ガスの吸入を避ける。

適切な保護具(耐熱性保護衣など)を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

関係者以外は近づけない。

環境に対する予防措置

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

封じ込めおよび浄化方法と機材

漏出物は密閉できる容器に回収する。

静電気などで火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。

二次災害の防止策

着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。

## 7. 取扱いおよび保管上の注意

安全な取扱いのための予防措置

技術的対策

(取扱者の暴露防止)

必要な個人用保護具を使用する。

(火災・爆発の防止)

静電気対策を講ずる。

注意事項

使用済みウエス、スプレーダスト等は廃棄するまで水に漬けておく。

安全取扱い注意事項

取扱う前にすべての安全注意を読み理解する。

換気の良い場所で取り扱う。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

容器を密閉する。

日光から遮断する。換気の良い場所で保管する。

## 8. 暴露防止及び保護措置

職業暴露限界値、生物学的限界値等の管理指標

管理濃度

(スチレン)作業環境評価基準(2004) ≤ 20 ppm

許容濃度

(スチレン)日本産衛学会(1999) 20ppm; 85mg/m<sup>3</sup> (皮)  
 (スチレン)ACGIH (1996) TWA: 20ppm STEL: 40ppm (中枢神経系損傷; 上気道刺激; 末梢神経障害)

適切な工学的管理

適切な換気のある場所で取扱う。  
 排気/換気設備を設ける。

個人用保護具などの個人保護措置

呼吸器用の保護具

呼吸用保護具を着用する。

手の保護具

保護手袋を着用する。

目の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護手袋および保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状 :粘稠液体

色 :淡青色

引火点 :31 (セタ密閉式)

比重 :約1.10

10. 安定性及び反応性

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

避けるべき条件

熱、光、過氧化物等により重合反応を起こし発熱する。

静電気の放電。

混触危険物質

通気性のある材料、成分の溶剤に可溶性の材料は避けること。

11. 有害性情報

物理的、化学的および毒性学的特性に関係した症状

急性毒性

経口毒性成分データ

(スチレン)ラット LD50 5000 mg/kg

(シリカ)ラット LD50 3160 mg/kg

経皮毒性成分データ

(スチレン)ラビット LD50 5000 mg/kg

吸入毒性成分データ

(スチレン)ラット LC50 24000mg/ m<sup>3</sup> /4H

局所効果

皮膚腐食性/刺激性成分データ

(スチレン)ラビット 500 mg open ; MILD

がん原性

(スチレン)IARC-Gr.2B ; ヒトに対して発がん性があるかもしれない。

(シリカ)IARC-Gr.3 ; ヒトに対する発がん性については分類できない。

(スチレン)ACGIH-A4(1996) : ヒト発がん性因子として分類できない

(スチレン)日本産衛学会-2B:人間に対しておそらく発がん性があると判断できる証拠が比較的十分でない物質

12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性

水生生物に毒性

水生毒性(成分データ)

(スチレン)魚類(ファットヘッドミノール) LC50=4.02 mg/L/96hr (CERI\_NITE有害性評価書, 2004)

水溶解度

(スチレン)0.03 g/100 ml (20 C) (ICSC, 2006)

残留性と分解性

(スチレン)BODによる分解度:100%(既存化学物質安全性点検データ)

生態蓄積性

(スチレン)log Pow=2.95(PHYSPROP Database, 2005)

13. 廃棄上の注意

廃棄残留物の記述とその安全な取扱いに関する情報

(適切な処置を講じたとき以外は)環境への放出を避ける。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄する。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

番号 :1866

クラス :3

容器等級 :III

適切な積荷名称 :不飽和ポリエステル樹脂

指針番号 :128

有害液体物質(Y類同等):スチレン

危険物:スチレン

輸送の特定の安全対策及び条件

取扱い及び保管上の注意の項の記載に従う。

15. 適用法令

労働安全衛生法

第2種有機溶剤等:スチレン

名称表示危険/有害物(令18条):スチレン

危険物・引火性の物

名称通知危険/有害物(第57条の2、令第18条の2別表9):シリカ;スチレン

労働基準法 疾病化学物質:スチレン

化学物質管理促進(PRTR)法

第1種指定化学物質:スチレン

消防法

第4類 引火性液体第2石油類 危険等級 III

船舶安全法

引火性液体類

航空法

引火性液体

化審法

第2種監視化学物質:スチレン

16. その他の情報

参考文献

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 15th edit. UN

2008 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)

2008 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/monoeval/grlist.html>

JIS Z 7250 (2005年)「化学物質等安全データシート」

原材料/製品メーカーMSDS

ezCRIC法規制リスト(日本ケミカルデータベース)

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。